

令和 8 年度 東京都北区 KITA-CUP モルック交流会 実施要綱

1. 趣旨

健全なフェアプレイ精神と目標を持って試合に参加することを通して、プレイヤー同士がお互いを尊重し合い、世代を超えた区民同士の交流と協働を促進する。

2. 主催 北区スポーツ推進委員協議会 / 共催 東京都北区

3. 日時 令和 8 年 1 1 月 8 日 (日)
午前の部
受付： 午前 9 時 0 0 分
開会式： 午前 9 時 1 5 分
試合開始： 午前 9 時 3 0 分 (予定)
閉会式： 午前 1 2 時 (予定)

4. 会場 赤羽体育館 サブアリーナ (北区志茂 3-4 6-1 6)

5. 参加資格 北区在住・在学・在勤 ※小学生以上

- [定 員] 16 組まで (抽選の場合あり)
- [団体参加] 1 団体 3 名～5 名 (控える交代要員は 5 名まで可)
- [個人参加] 1 名、2 名での申込可
- [編成] 1 団体から 1 チーム 3～5 名の投擲者を基本とし、個人参加者 1 名、または 2 名組同士は主催者側で組み合わせチームを編成
- [チーム識別方法] 鉢巻き、ビブス・T シャツなど、チームが判別できるものを持っているチームは着用可

6. 競技方法

- 使用コートは A, B, C, D の 4 面とする。
- トーナメント方式により競技を行い、優勝、準優勝、第 3 位、第 4 位、敢闘賞を表彰する。
- 各コートに 3～4 チームが対戦し、投擲順は各団体にて決定する。
- 予選において各コートの 1 位チームは決勝戦へ進出し、2 位～4 位のチームは敢闘賞決定戦へ進む。
- [予選・決勝戦] 50 点制の 2 セットを実施し、**2 セットの合計点**により勝敗を決定する。
[敢闘賞決定戦] 50 点制の 1 セットを行い、各コートの勝者が 2 回戦に進出。2 回戦の勝者が敢闘賞となる。
- 各試合の開始時間は以下の通りとする (試合時間は各 30 分間)
 - ・ 予選第 1 回戦： **9 時 3 0 分**開始
 - ・ 予選第 2 回戦： **1 0 時 0 5 分**開始
 - ・ 決勝第 1 回戦・敢闘賞決定戦予選： **1 0 時 4 0 分**開始
 - ・ 決勝 2 回戦・敢闘賞決定戦第 2 回戦： **1 1 時 1 5 分**開始

○50点に到達した時点で終了ではなく、後のチームのターンを最後まで一巡し続行する

(例：Aチーム3人目50点で終了。引き続きB、Cチーム3人目は投擲してから終了)

○時間内に勝敗が決しない場合は、最後のチームの投擲をもって試合終了とし、その時点での50点に近い点数で勝敗及び順位を決定とする。

○同点の場合はモルックアウトによる5回投擲にて決着を図る。(チーム人数が5人以下の場合は、同じメンバーによる複数回投擲を認める)

【モルックアウトのルール】

- ① 手前から[6]、[4]、[12]、[10]、[8]の順にスキttlを並べる。
(その際モルック(投げ棒)の長さの間に設置)
- ② それぞれのチームメンバーが1回ずつモルックを投げる。合計5回
(投げられる度にスキttlは元の位置に戻す)
- ③ 点数は通常のモルックと同じように計算(1本：スキttlの数、数本：倒れた本数)
- ④ チームの総得点で勝敗を決める。

7. 規則

○得点方法は日本モルック協会(JMA)規定を準用。

○「**審判員が必ず正しい**」という原則が適用。

○プレイヤーは、**審判が合図を出したら投擲**とする。

○モルッカーリからスキttlの距離を**2m**とする。

○フィールド外に倒れたスキttlは、**境界線に対して垂直にコート内に戻し**、境界線から**モルック1本分**の位置に立たせる。

○試合フィールド内に入るには審判の許可が必要である。

○投擲順の規定は適用せず、チーム内の**メンバー交代や順番の変更は可能**とする

8. 罰則規定

【投擲ミス】次の場合は投擲ミスと判定され、得点が無効となる。

(1) **モルッカーリに接触又は踏み越え**があった場合

(2) 投擲後、スキttlが1本も倒れない場合

※投擲時間に制限を設けないが速やかに投擲すること。

※モルックの落下は投擲ミスの定義から除外する。

【減点】

(1) チーム内において**3人連続で投擲ミス**があった場合、該当のチームは**得点が0点**に戻り、勝敗が決するまで試合を継続する。

(2) **得点が50点を越えた場合**、該当チームは**25点**に戻りそのまま試合を継続する。

【失格】

故意なルール違反/フェアプレイ精神に反する行為/審判の指示の無視/審判又はプレイヤーへの攻撃などの行為はファウルとみなされ審判員からファウルをコールしペナルティを科すことができる。またファウルの累積や重度な不品行がある場合は、大会主催者に報告され該当のプレイヤーの退場又はチームの失格の処置を受ける場合がある。

9. 審判員の役割 罰則規定 8 を審判する。

1) 主審 (1 名)

- ・ 投擲の合図。(挙手)
- ・ モルツカーリの踏み越えと接触を目視/スキットルの倒れた数の確認 (得点)

2) 副審 (合計 2 ～ 3 名)

- (1 名) ・ 得点の確認と記録
- (1 名) ・ 得点板の操作 (1 名) ・ モルックを拾う。/スキットルを立てる。

10. 表彰

①優勝

本トーナメント決勝戦第 1 位のチーム (賞状)

②準優勝

本トーナメント決勝戦第 2 位のチーム (賞状)

③第 3 位

本トーナメント決勝戦第 3 位のチーム (賞状)

④第 4 位

本トーナメント決勝戦第 4 位のチーム (賞状)

⑤敢闘賞

敗者復活戦トーナメント決勝戦第 1 位のチーム (賞状)

⑥参加賞 ※予定 参加者全員 (粗品)

15. その他・注意事項

- 医師に自宅待機指示を受けている方、37.5 度以上の発熱のある方はご入場いただけません。
- 競技場内、ロビー、廊下ベンチ、更衣室での喫食はご遠慮ください。
食事は、2 階談話コーナー、1 階ギャラリーをご利用いただけます。
- 競技場内での水分補給は、蓋つきの容器のものを用意してください。(ペットボトル、水筒など)
- ご入場後に体調を崩された場合は、速やかに大会スタッフにお申し出ください。
- 貴重品の管理は、各自または各チーム毎にてお願いします。
- 参加者の休憩場所及び荷物置場は、お隣 [多目的ルーム] になります。
- 赤羽体育館の敷地内及び近隣周辺は全て禁煙です。
- 来館・体育館前での集合は、8 時 50 分以降でお願いいたします。